

症例報告6

要旨

ストーマ周囲皮膚の合併症の発生率は高く、ストーマ造設患者の半数以上が生涯のうちにストーマ周囲皮膚の問題を経験しています¹。合併症の種類、原因、それらの治療方法は、それぞれ大きく異なります。医療従事者は、ストーマ周囲皮膚の合併症の管理に多くの時間と労力を費やしています。患者にとって、ストーマ周囲皮膚の痛みは、生活の質に大きな影響を与えかねません。ストーマ周囲皮膚の合併症は、ストーマ造設後の最も一般的な術後合併症です²。この症例報告で、そのような症例の1つをご報告します。

目的

患者に適した面板を選択し、ストーマ周囲に面板が適切に密着することで、ストーマ周囲皮膚の異常を改善させ、健康な状態を維持すること。

患者の概要

患者は中年男性で、直腸癌に対して前方切除術およびループ式回腸人工肛門造設術を受けました。吻合部狭窄のためストーマを閉鎖できず、永久的ストーマとなる可能性がありました。患者は、回腸ストーマの排泄量をコントロールするため多量の止痢剤を使用しているにもかかわらず、排泄量の多さに悩まされていました。この患者のストーマは皮膚の「くぼみ」の中にあり、陥没しています。そのため、排泄量が多いという問題と併せて、漏れが生じやすくなっていると考えられます。

問題

1年前にストーマを造設して以降、単品系凸面型装具を使用しており、ストーマ周囲皮膚に刺激が生じて毎日交換することが多くなりました。また、ストーマ周囲皮膚の保護の補助として、ワイプ式皮膚被膜剤も使用していました。ストーマ周囲皮膚の排泄物の漏れを防止するため凸面型装具を使用し、ワイプ式皮膚被膜剤を使用していたにもかかわらず、ストーマ周囲皮膚合併症に悩まされていました。

ケアの実際

ストーマ周囲皮膚合併症が悪化し、ストーマ周囲に肉芽腫が生じて、患者は地域のストーマケアクリニックを受診しました(写真1)。肉芽腫の治療に、焼灼剤および「ニューイメージ セラプラス 凸面」が用いられました。

裏面に続く

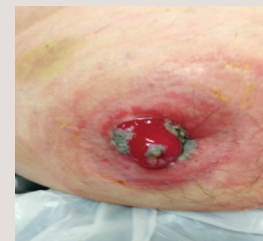


写真1 皮膚保護剤の下に皮膚に生じたストーマ周囲皮膚刺激症状。肉芽腫は焼灼剤を用いて治療しました。



写真2 2週間後、ストーマ周囲皮膚に改善がみられます。

症例報告6

結果

患者は2週間後にクリニックを再受診しました。ストーマ周囲皮膚合併症は劇的に改善しており、ストーマ周囲皮膚の絶え間ない刺激による不快感がなくなり、患者は非常に喜んでいました(写真2)。「ニューイメージ セラプラス 凸面」は、3〜4日間にわたり剥がれ等なく適切な密着が保たれており、ストーマ袋は2日に1回交換し、ワイプ式皮膚被膜剤の使用は中止しました。患者はQOLが大幅に改善したと感じており、以前よりも夜によく眠れるようになり、日常活動への復帰を楽しむようになっていました。

結論

ストーマ保有者の多くは、ストーマ周囲皮膚に問題が生じて、ストーマを造設したら、仕方のないこととしてそれらの問題を受けいれています³。幸い、この患者は支援を求め、問題は目に見えて改善しました。皮膚刺激を軽減する手段として、ストーマ周囲の十分な密着を達成し、漏れを防止しても、ストーマ周囲皮膚を健康に保つには十分でないこともあります。皮膚保護剤の成分もストーマ周囲皮膚の健康に影響を及ぼします。皮膚保護剤の配合成分と密着性の適切な組み合わせを見つけることは、ストーマ周囲皮膚を健康な状態に維持するために不可欠です。

引用情報:

1. Richbourg L, Thorpe J, Rapp C. *Difficulties experienced by the ostomate after hospital discharge.* J Wound Ostomy Continence Nurs. 2007; 34(1):70.
2. Meisner S, Lehur P-A, Moran B, Martins L, Jemec GBE. *Peristomal Skin Complications Are Common, Expensive, and Difficult to Manage: A Population Based Cost Modeling Study.* PLoS ONE. 2012; 7(5): e37813.
3. Whiteley IA and Sinclair G A *Review of Peristomal Skin Complications Following the Formation of an Ileostomy, Colectomy or Ileal Conduit.* World council of Enterostomal Therapists Journal, 2010; 30(3) p. 23-29.

この症例報告は、特定の患者に「ニューイメージ セラプラス 凸面」を使用した場合の一人の看護師の経験を示すものであり、すべての症例に適応できるとは限りません。

ご使用前にパッケージに同梱された「製品の使用目的」「禁忌」「警告」「注意事項」、および「使用方法」を必ずお読みください。

Hollister (ホリスター) のロゴ、CeraPlus、および「Healthy skin. Positive Outcomes. (『健康な肌』からより良い毎日を支える。)」はホリスター社の商標です。

その他のすべての商標と著作権はそのそれぞれの所有者に帰属します。

製品の中にはCEマークがついていないものもあります。

© 2019 Hollister Incorporated.



リモイスはアルケア株式会社の技術です。



製造元 Hollister Incorporated

販売元 株式会社ホリスター

0120-032-950